

役員 2021年3月24日現在

■取締役

取締役 会長 丹呉 泰健
 取締役 副会長 岩井 睦雄
 代表取締役 社長 寺島 正道
 代表取締役 副社長 見浪 直博
 代表取締役 副社長 廣渡 清栄
 取締役 山下 和人
 取締役 幸田 真音*
 取締役 長嶋由紀子*
 取締役 木寺 昌人*

*取締役 幸田 真音、長嶋 由紀子および木寺 昌人は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役 永田 亮子
 常勤監査役 山本 博
 常勤監査役 三村 亨*
 監査役 大林 宏*
 監査役 吉國 浩二*

*常勤監査役 三村 亨、監査役 大林 宏および吉國 浩二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

■執行役員

社長 (最高経営責任者、たばこ事業本部長)
 副社長 (最高財務責任者、コミュニケーション担当)
 副社長 (コーポレート・医薬事業・食品事業担当)
 専務執行役員 (コンプライアンス・サステナビリティマネジメント・総務担当)
 専務執行役員 (たばこ事業本部 国内たばこ事業CEO、事業企画担当)
 常務執行役員 (たばこ事業本部 国内たばこ事業CFO)
 常務執行役員 (たばこ事業本部 セールス担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 渉外担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 原料担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 RRPジャパンオフィスヘッド)
 執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 R&D担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 製造担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長)
 執行役員 (たばこ事業本部 品質保証担当)
 執行役員 (医薬事業部長)
 執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)
 執行役員 (食品事業担当)
 執行役員 (企画担当)
 執行役員 (デジタルイノベーション担当)
 執行役員 (総務担当)
 執行役員 (人事担当)
 執行役員 (コミュニケーション担当)
 執行役員 (法務担当)
 執行役員 (サステナビリティマネジメント担当)

寺島 正道
 見浪 直博
 廣渡 清栄
 山下 和人
 福地 淳一
 前田 勇気
 清川 栄一
 小倉 健資
 小川 千種
 中島 康裕
 廣末 秀一
 三木 啓介
 小柳 明弘
 小口 徹
 土方 徹
 藤本 宗明
 大川 滋紀
 古川 博政
 中野 恵
 柴山 武久
 菊池 孝徳
 森 功一
 福田 浩之
 廣瀬 修
 妹川 久人

株主・投資家の皆様へ
業績報告書

vol.66



株価の推移 1994年10月27日上場～2021年1月 当社株価（東証終値、月間）



*2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-6927 東京都港区虎ノ門4-1-1
 TEL 03-6636-2914 <https://www.jti.co.jp/>

2020年度実績および2021年度業績見込

JT NEWS

ひとの
 ときを、
 想う。 JT

コロナ禍に起因する大きな環境変化の中においても、柔軟かつ機動的に事業戦略を策定・実行し、将来の成長に向けて着実に前進

代表取締役社長

寺島正道



2020年度は新型コロナウイルスにより、全世界が大きな影響を受けた一年でした。残念ながら21年に入って以降も、各国で感染の拡大やロックダウンなどが続いている状況であり、現在もさまざまなかたちで痛みや苦しみを抱えている方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、社会機能の維持にご尽力いただいている世界中の関係者の方々、ご協力くださっている取引先の皆様、事業継続に取り組んでいる全従業員に改めて感謝いたします。

2020年度実績および2021年度業績見込

2020年度、全社利益指標である為替一定ベース調整後営業利益、すなわち為替影響や特殊要因を除いた営業

利益は、主に海外たばこ事業の成長が貢献し、前年度比5.5%の成長となりました。なお、為替影響を含む財務報告ベースの調整後営業利益につきましては、為替の不利な影響を大きく受け、前年度比5.6%の減益、当期利益は、旧本社ビルの売却収入などがあるものの、19年に発生した医薬事業での一時金収入がなくなった影響などにより、前年度比10.9%の減益となりました。

2021年度業績見込については、為替一定ベース調整後営業利益は、海外たばこ事業の力強い成長の継続に国内たばこ事業の貢献が加わることで、前年度比5.1%の成長を見込んでいます。財務報告ベースの調整後営業利益は為替の不利な影響と医薬事業での減少により前年度比2.5%の減益、当期利益は、20年に発生した旧本社ビルの売却収入がなくなるなどから前年度比22.6%の減益を見込んでいます。なお、現時点でコロナ禍の収束時期を見通すことは困難ですが、たばこ事業や加工食品事業における需要への影響は20年に比較すると、限定的なものになるとみています。

経営計画2021およびたばこ事業における事業運営体制の強化

2021年からの3か年計画である「経営計画2021」においても、中長期にわたる持続的な利益成長を追求し、為替一定ベース調整後営業利益の成長率について、中長期にわたる年平均mid to high single digit（1桁台後半の）成長を引き続き目指してまいります。

たばこ事業を取り巻く環境は、喫煙と健康の意識の変化、各国のたばこ税増税や喫煙規制の進展、RRP*市場の拡大や製品開発競争の激化など、お客様の嗜好も含め、大きく変化を続けております。長期的な視点での事業環境を見据えた上で、当社グループが今後も持続的成長を実現するためには、お客様中心志向を一層徹底し、RMC**への必要な投資を継続しつつ、HTS***への集中的な投資が必要不可欠であると認識しており、これらを効果・効率的に実行するため、現在の海外たばこ事業、国内たばこ事業の2事業体制を一本化することといたします。

加えて、日本市場におけるお客様への提供価値最大化に向けた競争力強化並びに過去数年にわたる事業量の減少や不確実性が高まる事業環境を踏まえ、事業基盤強化を企図した諸施策を実施いたします。

株主還元

2021年より、経営資源配分方針において掲げている「中長期にわたる持続的な利益成長に繋がる事業投資を最優先する」、「事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視する」という考え方と、事業環境の大きな変化にも耐えうる財務基盤を維持し続けるという、事業継続の観点から、株主還元方針を変更いたしました。これまで一株当たり配当金の安定的・継続的な向上を目指していた配当の水準について、今後は配当性向75%を目安としてまいります。21年度の一株当たり

配当金予想については130円といたしますが、中長期的な利益成長を実現することによって、株主還元の上を目指することに変わりはありません。

終わりに

不確実性の高い事業環境の変化の中において、当社グループはお客様中心の思考や行動を全ての仕事の原点とすること、グループワイドにリソースを最大限活用すること、それぞれの施策の検討段階から実行までをより迅速かつ柔軟に行うことができる仕組みをハード・ソフト両面から整えることを推し進めてきました。今般、これまでの一連の取り組みの帰結として、22年から国内外たばこ事業を一本化することといたしました。こうした、自らの意志で起こした変化をさらなる成長の契機として、名実共に真のグローバル企業として新たなスタートを切ってまいります。

*RRP：(Reduced-Risk Products) E-Vapor製品および加熱式たばこ等の喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。E-Vapor製品は、たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド(液体)を電気加熱させ、発生するペーパー(蒸気)を愉しむ製品であり、加熱式たばこは、たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー(たばこ葉由来の成分を含む蒸気)を愉しむ製品です

**RMC：(Ready-Made Cigarettes) 紙巻たばこ

***HTS：(heated tobacco sticks) 高温加熱型の加熱式たばこ

2020年度 全社実績			
	2019年度実績 (2019年1-12月)	2020年度実績 (2020年1-12月)	対前年増減率
為替一定ベース			
調整後営業利益*1	5,159	5,445	+5.5%
財務報告ベース			
売上収益	21,756	20,926	-3.8%
調整後営業利益*2	5,159	4,870	-5.6%
営業利益	5,024	4,691	-6.6%
当期利益*3	3,482	3,103	-10.9%

*1 海外たばこ事業における四半期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標

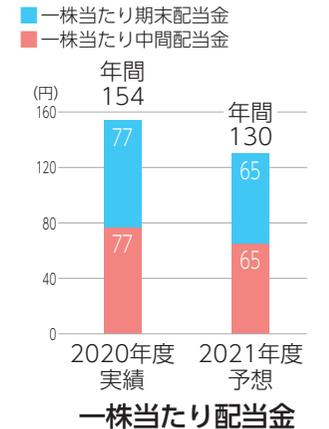
2 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産に係る償却費+調整項目(収益及び費用)

*調整項目(収益及び費用)= のれんの減損損失+リストラックチャリング収益および費用等

*3 親会社の所有者に帰属する当期利益

2021年度 全社見込			
	2020年度実績 (2020年1-12月)	2021年度見込 (2021年1-12月)	対前年増減率
調整後営業利益	4,870	5,120	+5.1%
売上収益	20,926	20,800	-0.6%
調整後営業利益	4,870	4,750	-2.5%
営業利益	4,691	3,630	-22.6%
当期利益	3,103	2,400	-22.6%

(単位：億円)



一株当たり配当金

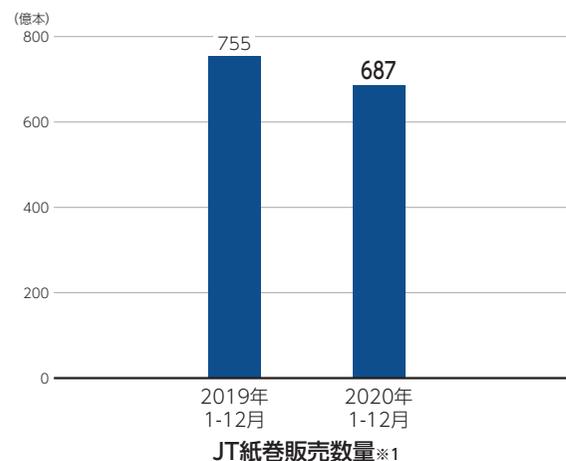
国内たばこ事業 今期のポイント

- 少勢減、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響、定価改定影響、規制影響、RRP市場の拡大により、JT紙巻販売数量は減少
- 紙巻販売数量の減少、国内免税および中国事業の減収などに加えて、RRP投資の強化などにより、減収減益

業績サマリー	
JT紙巻販売数量	前年同期比
687 億本	-68億本↓ -9.0%↓
自社たばこ製品売上収益	前年同期比
5,157 億円	-531億円↓ -9.3%↓
調整後営業利益	前年同期比
1,681 億円	-191億円↓ -10.2%↓

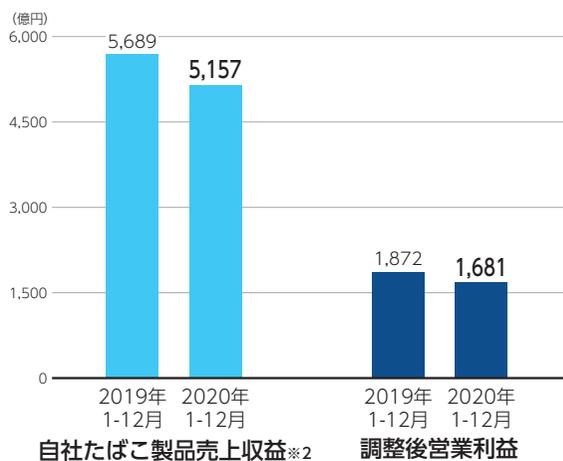
JT紙巻シェア※1/注カブランドシェア			
	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減%pt
JT	60.4%	59.8%	-0.5%pt
MEVIUS	30.2%	28.6%	-1.6%pt
Winston	7.6%	7.2%	-0.4%pt
SevenStars	7.8%	7.4%	-0.3%pt
AMERICAN SPIRIT	2.0%	2.0%	+0.0%pt

販売数量実績



※1 紙巻たばこの販売数量・シェアにリトルシガー（たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品）を含む。なお、販売数量は、国内免税販売/中国事業/RRP等を含まない

財務実績



※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP/リトルシガー関連の売上を含む

海外たばこ事業 今期のポイント

- 総販売数量は減少するも、各国におけるシェアの増加と力強く発現した単価上昇効果を主因として、為替一定ベースでは増収増益
- 財務報告ベースの調整後営業利益は、為替の不利な影響を受け、前年同水準

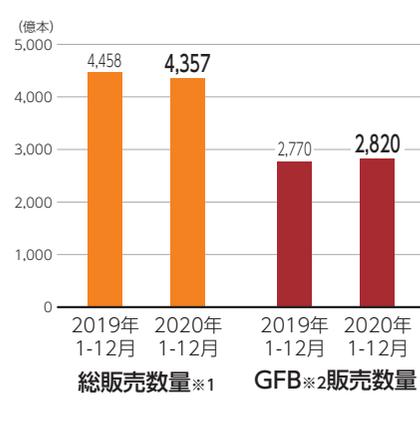
業績サマリー	
総販売数量	自社たばこ製品売上収益
4,357 億本	12,300 百万ドル
前年同期比	前年同期比
-101億本↓ -2.3%↓	+805百万ドル↑ +7.0%↑
GFB販売数量	調整後営業利益
2,820 億本	3,652 百万ドル
前年同期比	前年同期比
+50億本↑ +1.8%↑	+526百万ドル↑ +16.8%↑

主要市場シェア (12か月移動平均)

	2019年 12月	2020年 12月	増減%pt
フランス	24.2%	27.1%	+2.9%pt
イタリア	24.5%	25.6%	+1.2%pt
ロシア	39.1%	38.4%	-0.7%pt
スペイン	25.7%	26.7%	+1.0%pt
台湾	45.3%	47.7%	+2.4%pt
トルコ	27.4%	26.6%	-0.8%pt
英国	43.6%	45.0%	+1.4%pt

Source: IRI, Nielsen, Logista, JTI推計/出典元の過去のデータ修正等も反映

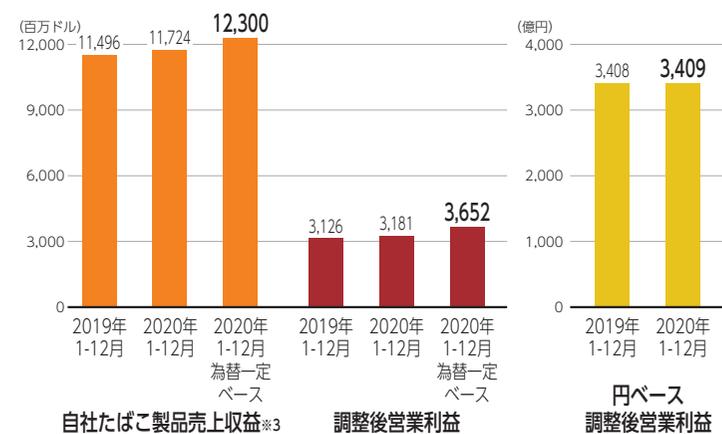
販売数量実績



※1 水たばこ/E-Vapor製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む

※2 グローバル・フラッグシップ・ブランド。当社グループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「ILD」の4ブランドを指す

財務実績

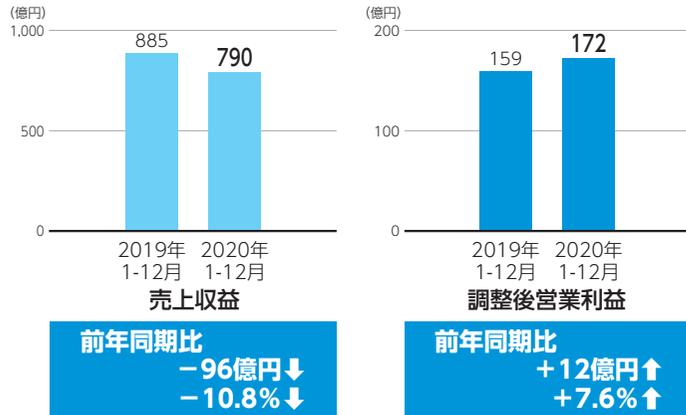


※3 物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRPの売上を含む

医薬事業

- 今期のポイント ●売上収益は、海外ロイヤリティ収入の減少を主因に減収
●調整後営業利益は、研究開発費の減少および鳥居薬品の増益により増益

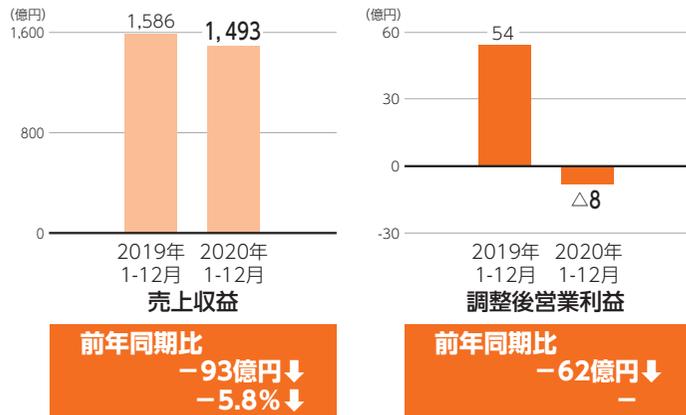
財務実績



加工食品事業

- 今期のポイント ●売上収益は、家庭用製品の販売が堅調であったものの、
外食向け製品およびベーカリー事業の販売減少により減収
●調整後営業利益は、トップラインの減に加え、ベーカリー事業の工場および店舗などの減損損失計上により減益

財務実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- 国内外の訴訟の動向
- 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- 国内外の経済状況
- 為替変動及び原材料費の変動
- 自然災害及び不測の事態等

連結財務諸表

(注)記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	2019年 12月末	2020年 12月末	増減金額
資産			
流動資産合計	1,925,673	2,003,919	78,246
非流動資産合計	3,627,397	3,377,464	△249,934
有形固定資産	803,239	759,290	△43,949
のれん	2,002,595	1,909,392	△93,203
無形資産	440,434	363,604	△76,830
投資不動産	16,588	4,744	△11,844
退職給付に係る資産	67,377	70,528	3,151
持分法で会計処理されている投資	52,903	40,230	△12,673
その他の金融資産	109,568	107,143	△2,425
繰延税金資産	134,696	122,534	△12,162
資産合計	5,553,071	5,381,382	△171,688

(単位:百万円)

科目	2019年 12月末	2020年 12月末	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債合計	1,501,757	1,323,793	△177,964
非流動負債合計	1,307,702	1,458,095	150,393
負債合計	2,809,459	2,781,888	△27,572
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,662,696	2,522,834	△139,861
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△492,469	△491,507	962
その他の資本の構成要素	△431,741	△605,776	△174,035
利益剰余金	2,750,506	2,783,718	33,212
非支配持分	80,916	76,660	△4,255
資本合計	2,743,611	2,599,495	△144,116
負債及び資本合計	5,553,071	5,381,382	△171,688

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減金額
売上収益	2,175,626	2,092,561	△83,065
売上原価	△942,299	△898,001	44,298
売上総利益	1,233,326	1,194,560	△38,767
その他の営業収益	95,725	54,924	△40,801
持分法による投資利益	5,011	4,042	△969
販売費及び一般管理費等	△831,707	△784,472	47,235
調整後営業利益※	515,927	486,952	△28,975
営業利益	502,355	469,054	△33,301
金融収益	8,402	12,353	3,951
金融費用	△45,526	△61,344	△15,818
税引前利益	465,232	420,063	△45,169
法人所得税費用	△103,609	△108,034	△4,424
当期利益	361,622	312,029	△49,593
当期利益の帰属			
親会社の所有者	348,190	310,253	△37,937
非支配持分	13,432	1,775	△11,657
当期利益	361,622	312,029	△49,593

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目(収益及び費用)*

*調整項目(収益及び費用)＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益および費用等

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減金額
当期利益	361,622	312,029	△49,593
税引後その他の包括利益	4,194	△179,145	△183,339
当期包括利益	365,816	132,883	△232,933
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者	352,953	131,965	△220,988
非支配持分	12,863	919	△11,944
当期包括利益	365,816	132,883	△232,933

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2019年 1-12月	2020年 1-12月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	540,410	519,833	△20,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,571	5,354	128,925
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,832	△297,404	36,428
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,008	227,784	144,776
現金及び現金同等物の期首残高	282,063	357,158	75,095
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△7,913	△46,098	△38,185
現金及び現金同等物の期末残高	357,158	538,844	181,686

JT NEWS

たばこトピックス

より小さく・より使いやすく Infused*用デバイス「プルーム・テック・プラス・ウィズ」 全国で販売開始

JTは、Infused用デバイス「プルーム・テック・プラス」から、コンパクトサイズの新モデル「プルーム・テック・プラス・ウィズ」を2020年11月2日に東京都内限定で発売。2021年2月1日から販売エリアを全国に拡大いたしました。

「プルーム・テック・プラス・ウィズ」は、クリーンに、濃厚なうまさを楽しむ「プルーム・テック・プラス」の味わいはそのままに、「デバイスの携帯性」や「使用時の

利便性」を進化させた、加熱式たばこ用デバイスです。本商品は手の中にすっぽりと収まるコンパクトさが最大の特徴で、おうちでの「ながら使い」をより快適にお楽しみいただけます。そして、たばこカプセル残量とバッテリー残量が一目でわかるディスプレイの搭載、充電時間の短縮などによって、利便性も大きく向上しています。

「プルーム・テック・プラス・ウィズ」の特長



おどろきの
コンパクトサイズ

使用状況がわかる
ディスプレイの搭載

充電時間大幅短縮*

*プルーム・テック・プラスと比較

※フル充電までの充電時間です
※バッテリーの劣化や環境温度で充電時間は増減する可能性があります

たばこにおいて
無臭レベル

* Infused (infused tobacco capsules) : 低温加熱型の加熱式たばこ

※ このページは株主の皆様様に事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

加工食品新商品紹介

JTグループ商品のご紹介

石臼挽き 信州そば 3食

レンジ調理 鍋調理 3食入 480g



石臼挽きのそば粉を5割使用し、そばで有名な長野県で製造した、食感とのど越しが良い信州そばです。暑い夏には、お湯を沸かさず1玉からレンジで簡単にざるそばを作ることができます。



えびピラフ 300g

レンジ調理 フライパン調理 300g

袋を開けた瞬間のえびの香りと、口の中に入れた時に広がるバターのコクがポイントです。チキンブイヨンとアメリカーナソースで味に深みを出し、満足感のある味わいに仕上げました。



お皿がいらない
ぶっかけ牛肉うどん

レンジ調理 1食入 263g

甘辛く味付けした牛肉をトッピングしたぶっかけうどんです。テーブルマークの製麺技術で作ったもちもち食感のうどんに、だしの旨みがきいたつゆと牛肉の相性が抜群。トレー入りなので、レンジ調理するだけの簡単便利な商品です。

世界的なESG株価指数である
「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」
の構成銘柄に7年連続で選定

JTは、2020年11月、世界的なESG株価指数である「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄に、7年連続で選定されました。

本指数は、企業の持続可能性（サステナビリティ）を経済、環境、社会の3つの側面から評価する国際的な指標として運用されています。

7年連続のDJSI Asia Pacificへの選定は、バリューチェーンを横断する社会および環境課題へ真摯に取り組んできた結果が高く評価されたものと考えています。当社グループが持続的に成長するためには、事業活動を通じて社会の持続可能な発展に貢献していくことが不可欠です。今後もステークホルダーの皆様との対話を通じて、社会と当社グループがともに持続的に成長できるよう、取り組みを着実に進めてまいります。

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

LGBTに関する取り組み「PRIDE指標2020」
最高位「ゴールド」を5年連続で受賞！

JTは、2020年11月、「work with Pride」が主催する「PRIDE指標2020」において、最高位の「ゴールド」を5年連続で受賞いたしました。

同指標は、LGBTなどの性的マイノリティへの企業・団体の取り組みを評価するものです。JTでは、一人ひとりの個性が尊重され、多様性が活かされた環境づくりに向けての意識啓発や環境整備など、多様な価値観を認め合える風土づくりを行ってきました。現在では、本社主導だけではなく、拠点においても自主的にLGBTに関する取り組みを行うフェーズに発展しており、これらの継続的な取り組みが評価されたと考えております。

JTでは、性別、性自認、性的指向や年齢、国籍だけではなく、経験、専門性など、異なる背景や価値観を尊重し、違いに価値を見出すことが、会社の持続的な成長に繋がると考えており、今後も多様な人財のさらなる活躍を推進してまいります。

work with Pride



株主総会における新たな取り組み 「インターネットによるライブ配信」のご紹介



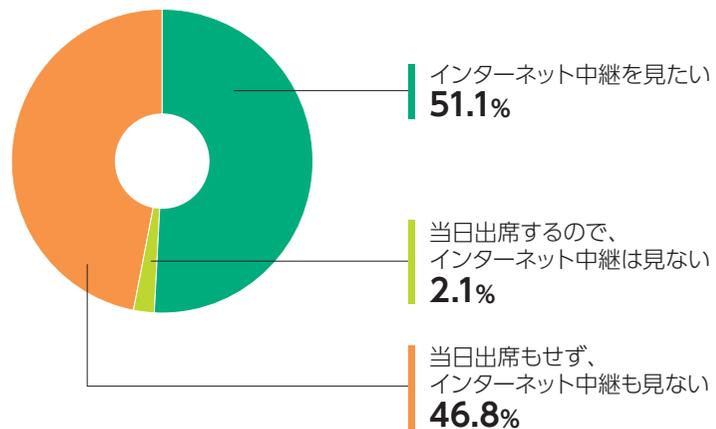
第36回定時株主総会にて、株主総会の様子をご自宅などからでもご覧いただけるよう、株主様向けにインターネットによるライブ配信を実施いたしました。なお、株主総会の模様は、一部を除き当社ウェブサイトにも掲載しております。

なお、本取り組みにつきましては、2020年6月30日現在の株主様を対象としてご案内し、約8万人の株主様よりご回答いただきました「株主アンケート」の結果・ご意見も踏まえたものとなります。

具体的には、「株主総会をインターネット中継した場合の視聴意向をお聞かせください」という質問に対し、「インターネット中継を見たい」というご回答が51.1%を占め、その他のご回答を上回る結果となりました。また、同アンケートの自由記述欄においても、「仕事などで参加が難しいため中継する場合はぜひ利用したい」、「遠地在住の場合に有効である」といったご意見をいただきました。

今後とも、さまざまな取り組みを通じて、当社経営や事業へのご理解を賜るべく努めてまいりますので、引き続きご支援のほど、何卒よろしくご意見申し上げます。

株主総会をインターネット中継した場合の 視聴意向をお聞かせください



2021年度株主優待商品のお届けについて

株主優待商品は、2020年12月31日現在、100株以上の当社株式を1年以上継続保有された株主様に4月中旬から6月中旬にかけて順次お届けする予定です。各商品のお届け日は、商品の手配・交通事情などにより前後する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

3月上旬に上記の株主様宛に発送しております「株主様ご優待申込書」にもれなく必要事項をご記入のうえ、3月25日（木）必着にて、JT株主優待事務局宛にご返送願います。株主優待の詳細につきましては、申込書に同封しております「株主優待のご案内」をご覧ください。

※期限までに「株主様ご優待申込書（ハガキ）」が到着しなかった場合、ご記入に不備がある場合、またはお申し込みがなかった場合は、6月中旬以降に当社指定の優待商品をお届けする予定です。

※2020年12月末現在のご登録のご住所に優待商品をお届けしますので、住所変更手続きがまだお済みでない場合、または今後住所に変更がある場合は、証券会社様でのお手続きをしていただくとともに、以下のJT株主優待事務局へご連絡ください。

株主優待に関する
お問い合わせ

JT株主優待事務局 ☎0120-791-187

事務代行：三菱UFJ信託銀行（株） 受付時間／平日9:00～17:00 土・日・祝日・年末年始（12/30～1/4）を除く

株主様向け見学会（2021年6月期）の実施見送りについて

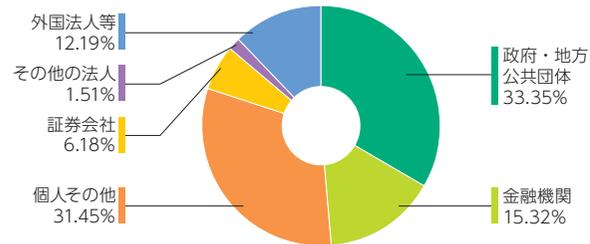
例年6月頃に実施しておりました株主様向けの当社施設の見学会については、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、実施を見送ることいたしました。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

商号	日本たばこ産業株式会社	設立	1985年(昭和60年)4月1日
本社所在地	〒105-6927 東京都港区虎ノ門四丁目1番1号 TEL.(03)6636-2914(代表) https://www.jti.co.jp/	資本金	1,000億円

株式の状況 2020年12月31日現在

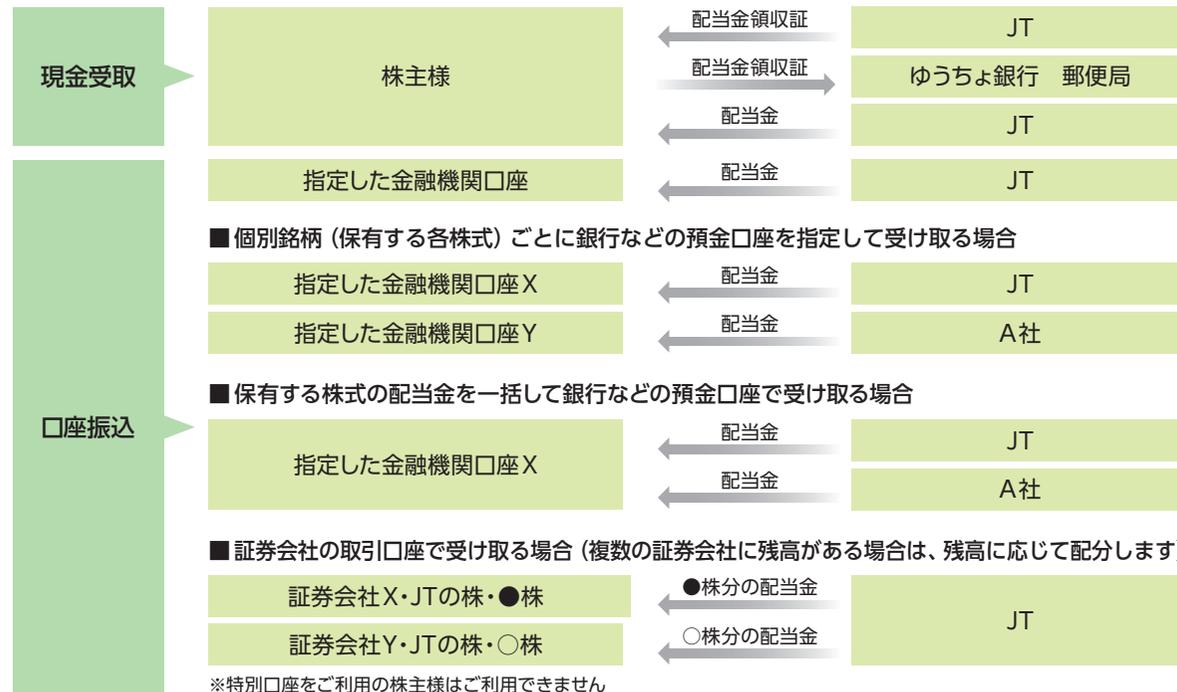
所有者別構成比



発行可能株式総数	8,000,000,000株
発行済株式の総数	2,000,000,000株 (自己株式 225,754,671株)
株主数	638,716名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告
当社ウェブサイト (https://www.jti.co.jp/) に掲載
※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
■事務取扱場所
東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■お問い合わせ先
東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

■郵便物送付先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない/配当金領収証の紛失などのトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先

東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-232-711(平日9:00~17:00)

郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社などへマイナンバーをお届けください